

地方公共団体からの支援計画書
(支援事業)

四国経済産業局長殿

平成29年 5月 2日

小松島市長 濱田 保徳 印

※原則として首長の公印が必要です。

補助事業名	地域性を活かした地域コミュニティ強化・空き店舗対策事業		
補助事業者名	小松島サンパーク協同組合		
地方公共団体名	小松島市	住所	小松島市横須町1番1号
担当部署	産業建設部産業振興課	担当者名	
電話番号	0885-32-3809	メールアドレス	sangyoshinko@city.komatsushima.lg.jp

1. 地域のまちづくり計画等との整合性、位置づけについて
※地方公共団体が商店街の集約・統合など構造的な課題にどのように取り組んでいるか、また、その課題に当該事業がどのように貢献し得るものなのかご記入下さい。

本市では第6次総合計画が平成29年度より実施されており、その計画における基本目標として「活気あふれるまちづくり」を挙げ、商店街のイメージアップにつながる景観づくりや商店街組織に対する支援を明記し、さらに、「子育てしやすいまちづくり」も基本目標としている。
サンパーク協同組合(以下、「ルピア」という。)の「地域性を活かした地域コミュニティ強化・空き店舗対策事業」について、市内最大のショッピングセンターであるルピアの活性化は市内商業にとっても重要であり、併せて、センター内に子育て支援センターの設置も計画されており、市内で4番目、商業施設では初めての地域子育て支援拠点となる予定であります。以上のことを鑑み、本計画は本市総合計画に適合したものであり、市民の利便性及び地域コミュニティの形成に大きく資するものであると考える。

2. 地方版総合戦略における商店街の位置付け、地方創生関連予算を活用した事業について
※地方創生関連予算については、商店街関係に限らず、予算を活用して実施した事業、これから実施する事業全般についてご記入ください。

中心市街地賑わい創出事業として、中心市街地空き店舗対策事業を実施し、中心市街地において、空き店舗を利用し新たに創業を希望する方へ、改修費の一部を補助することにより商業の活性化、賑わいの再生を図っている。また、平成28年度より、より多くの創業者に当事業を利用してもらえるように、補助対象地区を中心市街地以外の地区も含めること等の条件緩和を行った。

3. 当該事業への支援体制(関与・協力、連携状況等)
※補助金による支援や人的支援、情報発信活動等の取組を具体的にご記入下さい。

当事業においては、自立促進調査分析事業の段階からリニューアル事業委員会に市職員が参加しており、ルピアの実施予定事業で市の関わるものについて調整・助言を行ってきました。計画にある、子育て支援センターについては、運営費について市からの委託事業として実施できないか庁内で調整中である。また、地元特産品についても、市が有する事業所や農業者(特に有機農業等の特色のあるもの)のネットワークを活用し、地域住民のニーズに合った品揃えにするための仲介、情報提供等の支援、協力を行う。

4. 当該事業実施後のフォローアップ体制(頻度、方法等)
※フォローアップのために行う、補助金による支援や人的支援、情報発信活動、定期的なフォローアップ会合の設置・開催等の取組を具体的にご記入下さい。

子育て支援センターを委託事業で実施した場合は、定期的に状況を報告していただくこととなる。現在、ルピアとは良好な関係を築いているので、頻度等は未定であるが、定期的にリニューアル後の状況をヒアリングし、さらに市と協力してできるものがあるれば実施していきたいと考えている。

5. 当該事業に対する意見等

ルピアは市内最大のショッピングセンターであり、地元の事業者が中心となった地元密着型ショッピングセンターでもあるため、ルピアの商業機能・地域コミュニティ機能の向上は、本市にとって賑わい・商業活性化に大きな効果をもたらすものであると認識している。
ルピアはこれまでも、セントラルコートを利用した児童絵画の展示を実施したり、外国からの大型クルーズ客船が入港した際に市が準備した市内循環バスのバスストップの一つとして設定し、それに併せて特別サービスを実施するなど、県外資本のショッピングセンターではできないような小回りが利いた対応ができるため、様々な場面で市との連携が可能である。
地域コミュニティの形成、子育て支援、地元特産品などは、本市にとって大きな課題でありながらも、市だけでは全て実施することはできない状況にあるが、それを補う役割をはたすことができる事業ではないかと考えている。